

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



令和元年6月3日
福岡県うきは市
(第516号)



(報道各社への取材の御案内)

「訓練放送です。土砂災害のおそれが高くなったため、避難勧告が発令されました。避難してください。」

九州北部豪雨災害から7年を前に、被災地・妹川で「土砂災害避難訓練」

平成24年7月13、14日の九州北部豪雨で甚大な被害を受けたうきは市の山間部妹川地区で、本格的な大雨の時期を前に、土砂災害避難訓練が開催される。地域の防災力の向上と関係機関の連携を図るため、平成23年から毎年6月に各校区で順次開催されていて、当地区では昨年に続き3回目の開催。

※妹川（いもがわ）地区：

筑後川の支流巨瀬川（こせがわ）沿いの山間地で地域のほとんどが土砂災害警戒区域の指定を受ける。

5集落・145世帯・411人・高齢化率44.0%(R1.5.31現在)、平成24年7月九州北部豪雨では1世帯が孤立、314人が避難。

■日時 6月9日(日) 午前9時から ※少雨決行

■場所 檜ヶ平区公民館（うきは市浮羽町妹川4215-1）

■共催 妹川地区自治協議会、うきは市、消防団・消防署、警察署

■内容 避難訓練（9時に避難勧告発令後、防災無線・消防団車両で広報、住民は巨瀬のふるさと館（浮羽町妹川4333-1）に集合し公民館へ避難）、防災ビデオ上映、防災講話（九州大学大学院工学研究院 助教 西山浩司）、AEDの使用法（人工呼吸法、AEDの使用法）、土嚢作製

●問い合わせ

うきは市市民協働推進課消防防災係Tel.0943-75-4982



▲ 土砂災害で道路寸断

(平成24年7月九州北部豪雨・妹川地区持木)



▲ 昨年6月10日の避難訓練の様子

編集：うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980)

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索

2019.6.3発表／九州北部豪雨災害から7年を前に、被災地・妹川で「土砂災害避難訓練」